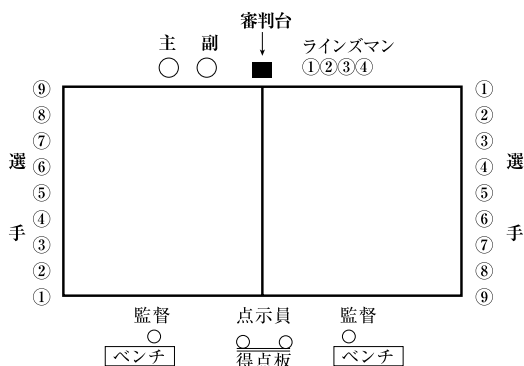


バレーボール（市民ルール）競技運用マニュアル

1. 試合開始前

- (1) 両チームは、試合が始まるまでにサービス・オーダー用紙を本部に提出する。
- (2) 主審は、サービス・オーダー用紙を本部より受け取った後、両チームのキャプテンを呼び、副審立ち会いのもとにトス（ジャンケンなど）を行う（前の試合が終了するまでに行っておく方が望ましい）。
- (3) 主審は、試合に先立って副審、ラインズマンと打ち合わせを行い、必要事項の指示等をする。
- (4) 主審は、他の審判員・選手（登録選手全員）を整列させ、挨拶（握手）を交わすよう合図する（前の試合の終了後、ただちに整列できるよう、審判団・選手は準備しておく）。



- (5) 挨拶の後、副審の計時により、ただちに公式練習を開始する（最初のサービス・チームから3分間または合同で6分間）。ただし、大会運営の都合上、公式練習を行わない場合は、前の試合終了後から整列の指示があるまでの時間を利用して、コート内で非公式練習をすることができる。
- (6) 公式練習が終了したら、主審の合図により、競技選手は、エンド・ラインにサービス順に整列をし、副審・ラインズマンはそれぞれの位置につく。
公式練習を行わない場合は、握手の後、交代選手はベンチに下がり、競技選手のみ再度サービス順に整列し、副審・ラインズマンは定位置につく。

- (7) 主審は、キャプテンの確認を行う。またラインズマンは、サービス・オーダー用紙により選手の確認を行う。
- (8) サービス順確認後、選手はコートに入り、主審は、プレー・ボールの吹笛の後、第1サービスへの吹笛を行う。
公式練習を行わない場合は、乱打を3本程度行った後、試合を開始する。

2. コートの交替と次のセットの開始

- (1) コートの交替は、セットの終了ごとに競技者がエンド・ラインに整列し、主審の合図によって行う（第2セットが終了し、1対1の場合もコートの交替を行う）。
- (2) 各セット間の中断は2分間（セット終了の吹笛から次のセット開始までの時間）とし、選手は一旦ベンチに下る（交替したコートで再度整列は行わない）。
- (3) 中断の間に、副審は、各チームに対し、次のセットの選手交代の確認を行う。
- (4) 次のセットの開始時には、選手はエンド・ラインにサービス順に整列し、ラインズマンはサービス・オーダー用紙をもとに選手の確認を行う。
- (5) 第3セットでは、第2セット終了後の交替に加え、さらにいずれかのチームが11点を先取したとき、競技者はエンド・ラインにサービス順に整列し、主審の合図によってコートの交替を行い、ただちに競技を続行する。

3. サービス順、サービス・チームの誤りと処置

- (1) サーバーがサービス順を誤って打った場合、誤りが発見された時点で、相手チームに1点を与えてサービス権を移行する。
- (2) サービス順を誤ったチームは、発見された時点で正しいサービス順に戻す。
- (3) 各セットの始めに、サービス・チームを誤って開始した場合、相手の最初のサービス開始までに発見されたときは、たとえ、イン・プレー中であっても、ただちにプレーを停止し、両チームの得点を取り消し、改めて正当なサービスチームにより競技を開始する。
- (4) サービス・チームの誤りが、相手チームのサービス開始後に発見されたときは、競技はそのまま続行する。

4. サービスにおける注意と警告

- (1) サービス開始の吹笛後、速やかにサービスを行わなかった場合（ボールをつく動作等）、主審は、キャプテンを通じ警告を行う。
- (2) 同一チームが同一セットにおいて、2回目以降の警告を受けた場合は反則となる。

5. 試合終了

- (1) 競技選手およびすべての審判員は、競技開始前と同じ位置に整列する。
- (2) 主審は、吹笛の合図とともに、勝者側の手を上げてコールした後、握手の合図を行う。
- (3) 両チームの選手は、握手した後、退場する。